

令和6年度第3回 羽曳野市本庁舎建替整備に関する意見聴取会 会議録

1. 日 時 令和7年1月28日(火)10時～12時00分

2. 会 場 羽曳野市役所 別館3階会議室

3. 出席者 (敬称略・区分別五十音順)

区分	氏名	所属・役職等
学識経験者 (座長)	関川 華	近畿大学 建築学部建築学科 准教授
学識経験者	和泉 大樹	阪南大学 国際観光学部 教授
市民団体	原 誠	羽曳野市商工会 会長
議会	竹本 真琴	羽曳野市議会 公共施設建設整備特別委員会 委員長

4. 欠席者

- ・音川 佳世 羽曳野市身体障害者福祉協議会 会長
- ・風呂谷 幸蔵 羽曳野市連合区長会 会長

5. 傍聴者

- ・0名

6. 次 第

- ・パブリックコメントの実施について
- ・実施設計・施工一括発注公募型プロポーザルについて
- ・その他

7. 資 料

- ・資料1-1 パブリックコメント募集要領(案)
- ・資料1-2 羽曳野市本庁舎建替整備 基本設計図書(案)
- ・資料1-3 事業費比較表(案)
- ・資料1-4 財源計画(案)
- ・資料2 実施設計・施工一括発注公募型プロポーザルについて

8. 事務局

- ・羽曳野市 総務部管財用地課庁舎整備推進室
(・株式会社 三菱地所設計)

9. 内 容

1. 開会

■事務局より開会の挨拶。

- ・ 本日は、お忙しいなか令和6年度第3回意見聴取会にご出席いただき、厚く御礼申しあげます。本年度より限事務所を基本設計者に選定し、基本設計を進めていき、秋には中間報告としてシンポジウムを開催し、多くの市民の皆さまに参加いただくと共に、多くのご意見やご要望をいただいたところでございます。そして昨年末基本設計案を作成し、今年1月6日にDB事業者選定のための公募型プロポーザルの公告を行ったところでございます。今後につきましては、今年度予定しております基本設計の完成に向けまして意見聴取会の委員の皆さまのご意見を伺うと共に、パブリックコメントによる市民の皆さまのご意見を伺う機会を設けることを予定しておりますので、委員の皆さまにはご協力をよろしくお願い申し上げます。本日はよろしくお願いいたします。

2. 資料確認

■事務局より資料確認

3. 委員紹介

■事務局より委員紹介

- ・ 本日は音川委員、風呂谷委員がご欠席となっております。
- ・ それではここからは関川座長に進行をお願いしたいと思います。関川座長よろしくをお願いいたします。

4. 次第1 パブリックコメントの実施について

■資料1-1「パブリックコメント募集要領（案）について」、資料1-2「基本設計図書(案)」を事務局より説明。

5. 質疑応答

◆和泉委員

- ・ 資料1-1について、パブリックコメントを募集する旨の情報はどのように周知予定でしょうか。

■事務局

- ・ ホームページと広報誌を予定しています。

◆和泉委員

- ・ 情報発信の際に、単に「基本設計に係るパブリックコメントを募集します」とするより、例えばここにサブタイトルやイメージパースと共に発信しては如何でしょうか。今のままでは資料内容の専門性が高く、市民の皆さんが意見し難いと思うので、分かりやすいサブタイトルやパースと合わせて募集された方が多くの市民の目に留まりやすいと感じました。
- ・ 現段階での議論では無いかもしれませんが、私がこの会で一貫して軸として考えていることとして、地域住民の皆さんや観光者の皆さんとどう関わるかということがあります。例えば緑化計画であれば、植樹は難しいかもしれませんが、市民の皆さんと一緒に花を植えることなどの活動について考えてもらいたいと思います。検討チームを組成しても良いと思います。私は建物については専門外ですが、史跡整備の研究の中でアタッチメント、「愛着」は関われば関わるほど醸成されることがわかってきています。何かプロセスの段階から地域住民の方々が庁舎に関わるような仕組みを作ることができたら良いと思います。ただこれはパブリックコメントの段階ではないかもしれません。

■事務局

- ・ パブリックコメントにサブタイトルとパースを追加することは良い案と思います。ホームページへの掲載方法については検討します。
- ・ 緑化計画に関するご意見について、今後ワークショップを開催する予定ですので、そのような場で市民の皆さんと一緒に作っていくスペースの他にもご意見が出れば協議していきたいと思います。貴重なご意見をありがとうございます。

◆ 関川委員

- ・ パブリックコメントの実効性についてまず伺いたいです。おそらく共通理解を促すことを趣旨として、市役所側と市民側とが意見交換することに意味があるものと理解されているということでしょうか。あるいは市民の意見を実施設計段階等で反映できるものは反映させるようなことも考えられていますでしょうか。

■ 事務局

- ・ パブリックコメントとして昨秋のシンポジウムにて中間報告という形で市民の方々へ図面等をお見せした際にたくさんのご意見を伺いました。それも含めて基本設計に反映できるところは反映させました。今回のパブリックコメントについても取り入れられることは取り入れたいと考えています。

◆ 関川委員

- ・ 基本設計図書の中で、例えば植栽計画に力を入れるというメッセージを感じましたが、植栽を多く計画するとランニングコストが気になります。ランニングコストが市民の皆さんに対してどのくらいの負担として分配されるかは非常に重要な論点だと思います。
- ・ 計画の中で古墳を地域資源としてどう捉えているか、市民がどう感じるかという観点も市民の皆さんにとっては重要なポイントだと思います。
- ・ 追加資料を作成することになるかもしれませんが、概算資料など何か参考になる資料があった方が良いでしょうと思います。

■ 事務局

- ・ ランニングコストに配慮することが重要であることは認識していますので、当然ランニングコストも含めた費用対効果を考えて計画を精査したいと考えています。パブリックコメント時に提示できるかは難しいところがありますので、市民の皆様にもご理解いただきながら計画を進めたいです。

◆ 関川委員

- ・ 具体的な額が提示できなかったとしても、植栽はこれまでより増えることから、発生する管理費が必然的にかかってくるという事実はきちんと公表されつつ今後も注視していただくという形にしてもらったら良いと思いました。
- ・ パブリックコメント実施の趣旨から外れますが、無くなる建物に対する地域の方の想いがあると思います。和泉先生からもお話があったように「愛着」は非常に重要なものです。地域の方が新庁舎を受け入れて、新庁舎が居場所として定着するまでの気持ちの段階を踏んでいくためにも、現庁舎での思い出や、それがあなたの人生にとってどういうものだったかといった意見も蓄積しておくことは必要だと思います。また将来的に羽曳野市の歴史として重要なものになると思います。これはおそらく今の段階でしか集められないものだと思いますので、タスクとしては負担になりますが、是非そういった考えで新庁舎へのアタッチメントのスタートアップにされては如何かと思いました。

■ 事務局

- ・ 現庁舎には定礎があり、我々も何が保管されているかわかりませんが、その保管物や「かつての市庁舎」として写真を展示することや、現庁舎の建設位置等を何らか示すことによって、将来的にも現庁舎を市民に知って頂きたいですし、歴史を語っていきたいと思っています。

6. 次第1 パブリックコメントの実施について

■ 資料 1-3「事業費比較表」、資料 1-4「財源計画（案）」を事務局より説明。

7. 質疑応答

◆ 竹本委員

- ・ 財源計画について、不安定な社会情勢の中で予算として組みにくかったと思います。8 億円追加となってしまいましたが、うまくまとまっているという印象です。ただ今後も物価に関しては不安定な状況が続くと思いますが、この 108 億円の試算は今後の物価変動も踏まえた額か、あるいは現状の仕様をもとに算出した額かどちらですか。
- ・ 資料 1-4 について、先日議会の全員協議会でも財源計画（案）に関しては、詳し

くご説明いただいて、詳細な意見交換をさせていただきましたが、この資料に対してパブコメを募集する際に市民の皆さんにとって、金額の規模や財源についての専門用語がわかりにくいのではないのでしょうか。例えば「緊防債の充当率 100%、交付税措置が 70%」と市民の方が聞いても実際何がどうなるかっていうのは多分伝わらないと思います。緊急防災・減災事業債で言えば、約 24 億円が交付税措置として受けられるので、市としての実質負担としては約 10 億円と概算できます。事業費 108 億円は特に大きな金額という印象を受けますが、市が実質負担として支払わなければならない予算額を理解しやすい資料にした方が、パブコメを募集した際に市民の皆さんが理解を深めた上でご意見をいただけるのではないかと思います。

■事務局

- ・ 事業予算の試算に当たっては、特にゆとりはなく通常のコストとして算出させていただきました。今後実施設計の中で VE 検討を行い調整したいと思います。
- ・ 地方債のご指摘については確におっしゃられる通りでした。過去のたくさんのご意見の中で「100 億円全額を市が一般会計の中から支出するのか」といったご指摘をいただいていたところもありましたので、注釈を入れるなど表現を工夫させて頂きたいと思います。

8. 次第 2 実施設計・施工一括発注公募型プロポーザルについて

■資料 2 「実施設計・施工一括発注公募型プロポーザルについて」、事務局より説明。

9. 意見・質疑応答

◆関川委員

- ・ VE 対話によって工事費が低減されていくものと考えれば、先ほど事業費比較表で説明いただいていた 108 億円は少し下がるイメージでよろしいでしょうか。また明日が参加表明の提出期日ですが、現時点で何件あるか伺えませんかでしょうか。

■事務局

- ・ 参加表明については回答できませんが、事前に行った質問書の提出は何件がありました。質疑回答についてはホームページで公開しています通り、まったく興味を持たれていないということはないものと思っています。

10. 次第 3

■次第 3 「その他」について、事務局より説明。

11. 意見・質疑応答

◆関川委員

- ・ 次第 3 「その他」、および全体を通じてのご意見、ご質問等ありませんでしょうか。ないようですので、以上とさせていただきます。

12. 閉会

◆関川委員

- ・ これで議事は全て終了しましたので、意見聴取会を終了します。円滑な進行にご協力をいただきどうもありがとうございました。進行を事務局にお返しいたします。

■事務局

- ・ 関川座長ありがとうございました。事務局よりご連絡です。本日の会議録につきましては、事務局で案を作成し、公表前にご確認いただきたいと思いますと考えておりますので、よろしく願いいたします。それではこれをもちまして第 7 回令和 6 年度第 3 回羽曳野市本庁舎建替整備に関する意見聴取会を閉会いたします。本日は長時間にわたりありがとうございました。